

ある家族。ひとつの秘密。
そして、静かに反転してゆくいくつもの運命。



キャスト シャドウ

OMBRES PORTÉES

CIE L'OUBLIÉ(E) / RAPHAËLLE BOITEL

カンパニー・ルーブリエ / ラファエル・ボワテル



2025.10.24 [Fri] → 10.26 [Sun] 世田谷パブリックシアター

お問合せ：世田谷パブリックシアターチケットセンター 03-5432-1515 (10:00 ~ 19:00) setagaya-pl.jp/

主催 公益財団法人せたがや文化財団 企画制作 世田谷パブリックシアター 後援 世田谷区、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランス

キャストシャドウ OMBRES PORTÉES

CIE L'OUBLIÉ(E)/RAPHAËLLE BOITEL

カンパニー・ルーブリエ / ラファエル・ボワテル

2025.10.24[Fri]19:30, 25[Sat]15:00, 26[Sun]15:00
世田谷パブリックシアター

言葉と肉体が交錯するサーカスの新境地

極限まで研ぎ澄まされた身体に“言葉”が静かに忍び込み

秘密と不穏を孕んだ家族の物語が 光に照らされ 影とともに立ち現れる

照明は陰影を刻み 音楽は記憶を揺さぶる

その美しさに あなたはきっと言葉を失う――

Ticket

◎ チケット料金	全席指定 / 税込
一般	¥6,000
高校生以下(当日要証明書提示)	¥3,000
ペア(一般2名)	¥11,000
U-24*	¥3,000
友の会*	¥5,500
せたがやアーツカード*	¥5,500

*劇場チケットセンターで前売りのみ取り扱い。U-24、友の会、アーツカードは要事前登録。

※未就学児入場不可。

※開演後はご入場をお待ちいただく場合がございます。

あらかじめご了承ください。

※公演中止の場合を除き原則として入場券の変更・払戻しはいたしません。

※営利を目的とした入場券の転売は、いかなる場合にも固くお断りいたします。

◎ チケット取り扱い

世田谷パブリックシアターチケットセンター

selagaya-pt.jp

03-5432-1515(電話・窓口10:00-19:00)

■ チケットぴあ(Pコード535-479)

■ イープラス

※各プレイガイドともにオンライン販売のみ。



詳細は劇場HPをご確認ください▲

Service

■ 車椅子スペースのご案内(定員あり、要予約)

料金：一般料金の10%割引(付添者は1名まで無料)

申込：劇場チケットセンター03-5432-1515(先着順)

■ 託児サービスのご案内(定員あり、要予約)

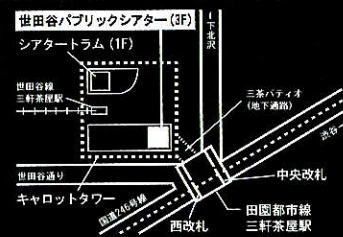
料金：2,600円

対象：生後6ヶ月以上9才未満

(障害のあるお子様についてはご相談ください)

申込：劇場HP内フォームから申込(ご希望日の1週間前までに)

Access



〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 Tel.03-5432-1526

東急電鉄田園都市線(渋谷より2駅・5分)、東急世田谷線

「三軒茶屋」駅より直結

お問合せ：世田谷パブリックシアターチケットセンター
03-5432-1515 (10:00~19:00) selagaya-pt.jp/

主催 公益財団法人せたがや文化財団

企画制作 世田谷パブリックシアター

後援 世田谷区、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランス

協賛 東邦ホールディングス TOYOTA

協力 東急電鉄株式会社

助成 笹川日仏財団

東京舞台芸術祭2025 Open Call Program 補助対象事業



文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



世田谷
芸術百華

演出・振付：ラファエル・ボワテル

照明デザイン・舞台美術：トリスラン・ボドワン

作曲：アルチュール・ピゾン

出演：ティア・バラシー、モハメド・ラリブ、ニコラ・ルーデル

アルバ・フェーヴル、ヴァシリキ・ロシリオン、アラン・アングラレ

CIE L'OUBLIÉ(E) カンパニー・ルーブリエ

2012年、振付・構成・演出を務めるラファエル・ボワテルを中心に設立。サーカスに、演劇、ダンス、映画などの様々な分野を融合させた新しい身体的・視覚的言語の開発に力を入れている。特にエアリアルについては、伝統的なサーカスでは見られない画期的な新しい装置を開発。唯一無二のスタイルが注目を集め、世界中で人気を博している。2019年に初来日公演となった『When Angels Fall / 地上の天使たち』(‘18)のほか、複数の作品で世界中をツアー。ボルドー国立劇場と共同制作されたバルクール作品『HORIZON』(‘19)は、パリ2024夏季オリンピックに向けたカルチュラル・オリンピックアドの中でも上演され注目を浴びた。

RAPHAËLLE BOITEL ラファエル・ボワテル

6歳で初舞台、8歳にてアニー・フラテリーニに見初められ、92年に国立サーカス学校アカデミー・フラテリーニに入学。1998年から2010年まで、フランス現代サーカスの旗手ジェームス・ティエレと共に活動。13年のツアーの間、平行して演劇や映画、テレビなどでも活躍する。2012年、Cie111 / オーレリアン・ボリーにて活動。その後、カンパニー・ルーブリエを設立する。自身の作品の他、ミラノスカラ座、パリ・ジャトレ座、オペラ・コミック座などでオペラの振付を担当。2020年には、フランス国立サーカスアートセンター(CNAC)の卒業制作の演出に抜擢された。2021年および23年には、日本拠点のアーティストとの国際共同制作『フィアース5』にて演出を務めた。

